

第2回 平賀駅周辺まちづくり基本構想検討会について

開催趣旨

- 令和8年2月6日（金）に第2回平賀駅周辺まちづくり基本構想検討会を平川市役所で開催しました。
- 検討会では、事務局から平賀駅周辺まちづくり基本構想（案）等を説明したのち、意見交換を行いました。

日時等

- 日時：令和8年2月6日（金）10:00～11:30
- 場所：平川市役所 4階 大会議室2

1. 開会
2. 議事
 - (1) 平賀駅周辺まちづくり基本構想の検討の進め方について
 - (2) 市民ワークショップ・若手職員ワーキングの開催概要について
 - (3) 平賀駅周辺まちづくり基本構想（案）について
3. 議事に対する意見交換
4. 今後のスケジュール
5. 閉会

開催状況



▲北原座長挨拶



▲検討会の様子

出席者

■平賀駅周辺まちづくり基本構想検討会委員（敬称略、名簿順）

- ・小田桐 亨二（平川市観光協会 会長）
- ・船越 信哉（弘南鉄道㈱ 取締役専務）
- ・中江 貴之（平川市 建設部長）
- ・葛西 浩幸（ふれいあいタウンひらか 会長）
- ・木村 方昭（平川金融団（青森みちのく銀行平川支店長））
- ※オブザーバー 土井 良浩（弘前大学 准教授）
- ・北原 啓司（弘前大学 特任教授）
- ・對馬 一俊（平川市 総務部長）

主な意見

- 10年にわたる長期的な計画であるため、進めていくには若い世代が中心になってもらう必要がある。そのため、人材育成や若い世代を流出させないような対策が必要である。
- なるべく住民の方に快適に過ごしてもらえらることも必要であるが、プラスアルファで観光客の方にリピーターになってもらえるような取組も必要である。
- 構想の作成を進めるにあたっては、間違ふと後戻りできなくなる可能性があるため、全国の成功例や失敗例を調べて参考に出来ると良い。
- 来る人の数に重きを置くのも重要だが、ちょっとした気遣いをする事で訪れた人にとって居心地の良い空間になると良い。
- シナリオについて、整備する場所によって順序がある事はしょうがないが、後回しにされているなどの誤解を招かないように見せ方を工夫する必要がある。
- 空き地・空き家などの今ある物をできる所から手をかけていくのが良い。国の制度も活用しながら構想を進めていけると良い。
- 構想がスタートして建物が出来るまでの間にも、構想が動き始め、賑わいがこれから立ち上がっていくような取組を並行して進めていく必要がある。
- この構想をみんなの構想としていくためには、期待感を膨らませながら進める必要がある。広報誌やSNSなどを活用して期待感の醸成ができると良い。